

16 公共図書館を核とした地域の価値創造：民間企業の取り組み

著者	高橋 聡
内容記述	研修：令和元年度大学図書館職員長期研修 主催：筑波大学 期間：令和元年7月1日～7月12日 会場：筑波大学春日エリア情報メディアユニオン2階メディアホール等
発行年	2019-07
URL	http://hdl.handle.net/2241/00157205

公共図書館を核とした地域の価値創造

高橋 聡

カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社

公共サービス企画カンパニー社長

●講義の趣旨

CCC は、2013 年 4 月に佐賀県武雄市図書館のリニューアルを行い、以来、これまで全国で 6 館の公共施設の指定管理を担ってきました。この間、試行錯誤を続けながら、独自のノウハウを構築してきました。

本講義では、人口減、高齢化など、社会課題を抱える地方都市における図書館の価値創造について、『学びを通じた賑わいの創出』という視点からお話しします。

また、そうした価値提供を実現するために、CCC が必ず実行しているプロセスについても紹介いたします。

●講義の構成

1. CCC 運営管理を担う公共施設の紹介

武雄市立図書館（2013 年 4 月～）

海老名市立中央図書館（2015 年 10 月～）

多賀城市立図書館（2016 年 2 月～）

高梁市立図書館（2017 年 2 月～）

武雄市こども図書館（2017 年 10 月～）

周南市立德山駅前図書館（2018 年 2 月～）

延岡市エンクロス（2018 年 4 月～）

2. 公共施設を企画するにあたり、実行している 3 つの手法

（1）コミットメントの重要性

（2）自己同一化

（3）100 の価値

3. 『学びを通じた賑わいの創出』により生まれる地域価値

4. 新たなる挑戦『延岡市エンクロス』